

〔 横浜市芸能センター 横浜にぎわい座 〕  
平成 25 年度業務計画及び収支予算  
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

## 1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 3 階地上 13 階建ての地下 2 階から地上 4 階、及び地上 5 階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97 m <sup>2</sup>
開館日	平成 14 年 4 月 13 日

## 2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通 4-40 商工中金横浜ビル 5 階
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

## 3 指定管理に関わる業務方針

### (1) 基本的な方針

「大衆芸能」は先人からの伝統を受け継ぎつつも、未来に向かい今もなお発展し続けている文化ジャンルです。また、その親しみ易さから老若男女を問わず、幅広い訴求力を持っています。

横浜にぎわい座は、様々な創意工夫により確立してきた独自の運営手法を「継承」しつつも、時代の変化やニーズを反映しながら更なる「発展」を目指します。

大衆芸能の専門施設として質の高い鑑賞事業を提供することを中心に、大衆芸能作品の創造発信、若手実演家の育成、市民活動支援などに取り組むことにより、横浜市の文化政策、ならびに地域の活性化に寄与しつつ、大衆芸能の普及振興を推し進めます。

## (2) 平成 25 年度の位置づけ

### 【事業】

前年度に取り組んだ開場十周年記念事業の成果を踏まえつつ、引き続き大衆芸能界の潮流と横浜にぎわい座の独自性を融合させた事業を実施します。特にプロモーションには力点を置き、より幅広い顧客層を獲得するための諸策に取り組みつつ経営基盤をあわせて強化します。

また、他施設や他組織との連携や、アウトリーチ活動など、第二期指定管理の目標として掲げた業務のより一層の充実に努めます。

### 【施設運営】

大衆芸能専門館ならではの親しみやすさと多様なニーズに対応できる特性を活かした、より使いやすい利用方法の提案を行います。

毎月後半の芸能ホールを中心とした利用については、利用方法や料金セットの基本情報をわかりやすく提示した案内リーフレットを活用し、落語演芸や伝統芸能を中心とした関係団体への認知度向上と積極的な働きかけにより利用対象の拡大を図り、貸館利用率の底上げと利用料金収入を向上させます。

### 【施設管理】

施設利用者に対して「安全・安心・快適」な施設提供に努め、的確な日常小破修繕対応や長中期視点に立った予防保全など、計画的かつ効果的な施設維持管理を行います。

### 【その他】

経費執行管理の徹底と収入増につながる方策を図る中で、全体の収支バランスをとりながらサービスの質を維持しつつ、厳しい経済情勢に見合った健全で持続可能な経営をめざします。

## 2 自主事業に関する計画

### (1) 鑑賞機会提供の安定的開催と充実について(鑑賞機会提供事業)

#### [目指す成果/アウトカム]

- ・「にぎわい座ならではの」多彩な公演の経常的な開催により、多くの方が気軽に大衆芸能を楽しんでいただける場とします。
- ・入場料収入が事業経費を上回る、安定的で継続性の高い収支構造とします。

#### [取組内容]

横浜にぎわい座 経常事業

芸能ホール公演:原則として毎月1日~15日

小ホール公演:毎月月後半に2回程度

- 『横浜にぎわい座 有名会』(毎月7回開催)  
気軽に来場できて、情緒溢れる“寄席”の雰囲気を感じられる寄席形式の公演。

- 『にぎわい座 名作落語の夕べ』  
(毎月1回開催)

真打の落語家4名が古典落語1席ずつ口演。

- 『横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)』  
落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日

#### [達成指標]      □定量的指標      ■定性的指標

□年間 230 公演以上の公演

□入場者月平均 3,500 名

有名会・名作 900 名+企画公演 2,600 名

□団体提携・団体優待

24 年度に実施した各種団体優待の継続

新規の提携・販促ルートの開拓:年間 5 件以上

替わりで提供。	
---------	--

## (2) にぎわい座からの創造発信について(創造発信事業)

[目指す成果／アウトカム] 大衆芸能の伝統を踏まえつつ、にぎわい座の独自性を加味した企画を実施することで、過去から未来へ続く大衆芸能の潮流の一端を担います。	
[取組内容] ●『長谷川伸没後 50 年記念公演』 横浜生まれで大衆演劇に縁の深い作家 長谷川伸の没後 50 年を記念した企画。 ●『桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作 怪談 真景累ヶ淵』(年 2 回開催)	[達成指標] □『長谷川伸没後 50 年記念公演』 入場者数:250 名以上 □「桂歌丸 語り直して 三遊亭圓朝作 怪談 真景累ヶ淵」 入場者数:各回 300 名以上

## (3) にぎわい座を拠点とした若手実演者の育成について(育成事業)

[目指す成果／アウトカム] 若手実演者に研鑽の場を提供し、大衆芸能の未来を担う「将来の名人」の誕生に寄与することで、大衆芸能界全体の発展に貢献します。	
[取組内容] ●『登竜門シリーズ in のげシャレー』 小ホールで開催する若手実演者による公演。 ●『横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)』 小ホールでの若手育成公演出演者の登用。 ●『坂あがりスカラシップ』 急な坂スタジオ・S T スポット横浜とのネットワークにより、新進芸術家の作品制作及び発表を継続的に支援する事業。	[達成指標] □『登竜門シリーズ in のげシャレー』 年間 12 回以上の開催 □『横浜にぎわい座 企画公演(演芸バラエティ)』 年 5 回以上の実施 上記公演の入場者数:各回 100 名以上 □『坂あがりスカラシップ』 継続支援対象者公演の実施(1 公演以上) 新規支援対象者の選定(2 組程度)

## (4) 多様な世代に向けた教育普及活動の拡充について(体験・学習事業)

[目指す成果／アウトカム] ・子どもを対象とした大衆芸能の教育・体験プログラムを通じて、創造力の育成に貢献します。また、大衆芸能の魅力に触れることで、それを身近なものと感じる層を拡大します。 ・外部の組織や施設等との連携した講座等の企画により、幅広い層に大衆芸能や寄席の魅力を普及します。	
[取組内容] ●『横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム』	[達成指標] □『横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム』

<ul style="list-style-type: none"> <li>●『寄席体験プログラム』 西区・中区の小学生を対象に、芸能ホールで【寄席文化】を体験してもらう公演。</li> <li>●『大衆芸能関連講座』 全年齢に向けて、経常企画と連動したレクチャー企画や体験講座を実施</li> </ul>	<p style="text-align: center;">コーディネートの実施(2校以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□『寄席体験プログラム』 参加者：1,500名以上</li> <li>□『大衆芸能関連体験講座』 講座の実施(年間3企画以上)</li> </ul>
--	---

**(5) 連携による大衆芸能振興の展開について(連携事業)**

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の団体等と協働することで、大衆芸能を通じた地域の賑わいづくりに貢献します。</li> <li>・財団が運営する施設間の連携による、ジャンルを超えたプロモーションや顧客開拓を通じて、芸術文化のすそ野の拡大に寄与します。また、連携により、多彩なアートを活用した横浜市の魅力の向上に貢献します。</li> </ul>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』への参加 地域の団体・組織が開催する芸術文化を活用して、地域の活性化を図る企画。</li> <li>●『専門施設間連携プロジェクト』</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 ・『野毛大道芸』への展示会場他の提供 (1回以上)</li> <li>・『野毛まちなかキャンパス』 講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</li> <li>□『専門施設間連携プロジェクト』 各専門施設担当者ミーティング定期開催 (6回以上)</li> </ul>

**(6) 大衆芸能に関わる市民活動への支援について(市民協働による事業や運営の展開)**

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>大衆芸能の魅力を多方面で活用し、地域の活動・イベントとの連携等、幅広く対応できる「コーディネート・相談」機能を稼働させ、市民の多様な活動をサポートします。</p>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』 にぎわい座が蓄積する大衆芸能の情報・ノウハウを、市民活動に幅広く活用してもらうため、情報発信・提供機能を強化します。</li> <li>(再掲) ●『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</li> <li>●野毛地区街づくり会「にぎわい座利用促進委員会」と協働して地域での市民活動を支援</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』 他の施設や組織へ情報やノウハウの提供、企画制作への協力(年間10件以上)</li> <li>■『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 広報協力や、展示やレクチャー企画への会場提供を行い、地域の賑わいづくりに寄与します。</li> <li>■街づくり会利用枠での利用数(5公演以上)</li> </ul>

(7) 大衆芸能情報センターとしての情報拠点化について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>大衆芸能に関連する公演情報を継続的、多角的に収集・蓄積・発信することで、大衆芸能の魅力が幅広い層に伝わり、大衆芸能の普及・認知度を向上させます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>● 『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』</p> <p>(再掲) ● 『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』</p> <p>● 『電子大福帳の活用』 主催公演の情報(公演日、演者、ネタ等)を「電子大福帳」へ入力・蓄積していきます。</p> <p>● 『展示事業』 2階情報コーナーでの大衆芸能資料を中心とした「常設展」「企画展」の開催。</p>	<p>[達成指標]    <input type="checkbox"/> 定量的指標    <input checked="" type="checkbox"/> 定性的指標</p> <p>■ 『情報コーナーでの大衆芸能情報の提供』 大衆芸能関連の配布物について、公演の開催地域や形態を問わず幅広く受け入れて配架します。</p> <p><input type="checkbox"/> 『大衆芸能「コーディネート・相談」機能』 若手演者や市民によるホール利用時を中心に、公演実施や企画制作に関するアドバイス・相談受付(年間5件以上)</p> <p><input type="checkbox"/> 『電子大福帳の活用』 全ての主催公演情報の入力(年間230件程度) 「電子大福帳」情報に基づく情報発信 (年間1回以上)</p> <p><input type="checkbox"/> 『展示事業』 「企画展」の開催(年間3回以上)</p>

(8) 地域活性化への貢献について

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>「野毛地区街づくり会」をはじめとする地域の各種団体と協力・協働し、相互の広報協力・情報発信等を行うことで、街のにぎわい創出に貢献します。また、隣接する「みなとみらい地区」への情報発信や協力関係の構築することで、野毛方面への人の流れづくりに寄与します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>● 『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』</p> <p>(再掲) ● 『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』</p> <p>● 『「みなとみらい地区」へのプロモーション活動』</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 『地域の飲食店等と連携したプロモーション活動』 「野毛通手形 SeasonIV」への参加の他、地域の飲食店等と連携した集客・広報活動を実施します。</p> <p><input type="checkbox"/> 『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 ・『野毛大道芸』への展示会場他の提供 (1回以上)</p> <p>・『野毛まちなかキャンパス』 講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上)</p> <p>■ 『「みなとみらい地区」へのプロモーション活動』</p>

地区内の企業間交流団体への参画・企画提供を行います。	MM c c への参加と連携企画の実施 (1回以上)
----------------------------	-------------------------------

(9)市の文化政策との連携について(都市戦略との連携)

[目指す成果/アウトカム] 多様な施設を運営する財団の施設の1つとして、「横濱JAZZプロムナード」や「フェスティバル事業」等への参加や、他の施設や組織との協働等で構築したネットワークを活用することで、横浜市の文化芸術・創造都市施策の実現に貢献します。	
[取組内容] ●『横濱ジャズプロムナード』  ●『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』 横浜で開催される舞台芸術の国際的プラットフォームへの参加 (再掲)●『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』  (再掲) ●『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』  ●『フェスティバル事業』 横浜のシンボリック事業として、「オール横浜」実施が予定されているアート・フェスティバル事業。	[達成指標] <input type="checkbox"/> 『横濱ジャズプロムナード』 のべ2日間参加。横浜都心部の活性化や市民協働の推進に寄与します。 <input type="checkbox"/> 『TPAM(国際舞台芸術ミーティング)』 プログラムへ参加(1公演) <input type="checkbox"/> 『野毛大道芸』『野毛まちなかキャンパス』 ・『野毛大道芸』への展示会場他の提供 (1回以上) ・『野毛まちなかキャンパス』 講座開催(1回以上)、会場提供(2回以上) <input type="checkbox"/> 『横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム』 コーディネートの実施(2校以上)  ■『フェスティバル事業』 広報面等での協力により、イベントの盛り上げと賑わいづくりに協力します。

3 施設の運営に関する計画

(1)大衆芸能専門館としての顧客満足度の高い運営の実現について

[目指す成果/アウトカム] 子どもたちの素朴な疑問から、演芸関係者の問い合わせにまで、幅広く対応可能な大衆芸能よろず相談所的役割を果たし、同時に教育機関との連携など社会的要請にも対応し、大衆芸能文化の振興拠点としての機能を発揮します。 また、大衆芸能への親近感を高め、幅広い方々に気軽に楽しんでいただけるよう、「横濱の笑いの殿堂」としての雰囲気作りと、高座舞台の高揚感へと誘うような対応に努め、支持層を拡大します。	
[取組内容] ●専門対応能力とアドバイス力の向上	[達成指標] <input type="checkbox"/> にぎわい座内外での落語会開催要請に対する

<p>●大衆芸能独特の魅力あるホスピタリティ向上</p>	<p>相談受付で情報提供とアドバイス(通年)が行われている</p> <p>□インターンシップ(大学生)、体験学習(中学校生徒)の受入れと実習実施</p> <p>□正面入口牽垂幕、幟の刷新</p> <p>■季節に応じた館内装飾の実施(隔月以上)</p> <p>■市民や学校などの団体向けに初心者向け講座またはバックステージツアー開催(共催を含み年2回)</p>
------------------------------	---

## (2) 施設の利用促進、利用開発による利用率向上について

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>現行の利用料金体系を基本としながら、公演スタイルに合わせた利用促進(共催など)の取組みがなされ、シャレー(小ホール)の稽古場利用促進や、制作室の創作活動利用をバックアップし、市民創造活動に貢献しているとともに、各室場が有効に活用されます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●ホールセールスの展開 施設案内リーフレットを活用し 新たな顧客層への施設周知と利用促進提案</p> <p>●施設別(利用)促進策の展開 芸能ホールを中心に、制作室の利用拡大</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□開館日数 341日(休館日月2回の施設点検)</p> <p>□目標利用率 芸能ホール：85% のげシャレー：65% ※利用可能日に対する稼働率 練習室：80% 制作室：50% ※利用可能時間帯に対する稼働率</p>

## (3) ニーズに基づくサービスについて

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>公演来場者へのアンケートを通してお客様のニーズを的確に把握して、施設運営および管理面におけるサービス改善とホスピタリティ向上に努め、施設に対する顧客満足向上を実現します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●多角的ニーズの把握、分析</p> <p>●新たなサービス開発、提供</p> <p>●苦情処理への対応とその反映</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■自主事業公演へアンケート挟み込みを実施</p> <p>■要望に対する対応や改善取組みについて ホームページや館内掲示等での顧客への回答</p> <p>■オリジナルグッズ開発、判りやすい案内標示</p>

#### (4) 広報取組みについて

[目指す成果／アウトカム] 昨年度の開場十周年期間に蓄積したプロモーション手法やネット経由の発信力の強化などにより、横浜にぎわい座の魅力や価値の認知度を向上させます。	
[取組内容] ●Web サイトからのPRと発信する情報の充実	[達成指標] □Web サイトへのアクセス数の向上 (施設ページビュー数の前年比5%増) □情報発信の充実 (公演情報等の月30回以上の発信)

### 4 施設の維持管理に関する計画

#### (1) 安全・安心・快適な施設の維持管理について

[取組内容] ●快適な環境維持について ●施設の安全確保について	[達成指標] □管理者側責任による施設面での人身事故年間『ゼロ』を実現。 □お客様アンケートにおける、施設“快適評価”4.5点の達成。 □サービス介助士2級取得者が常勤スタッフ中1名以上在籍。 ■所管局と施設・設備の維持管理に関して情報を共有し、優先度に応じた修繕対応。
--	---

#### (2) 施設予防保全への取組みについて

[取組内容] ●館内日常的整備点検と施設管理会社との管理業務確認のための定例ミーティング ●建物所有者理事会との調整・連携強化	[達成指標] □建物総合管理業務委託先との定例ミーティングを開催、情報交換と確認(毎月1回) □管理組合理事会への参加と情報共有(毎月1回)
---	--

#### (3) その他管理(保守点検)に関する実施業務 (第三者に委託して実施するもの)

[取組内容] ●建物総合管理業務 ●舞台技術業務 ●舞台機構・音響設備・舞台照明設備 各保守点検業務	[達成指標] ■専門業者に委託し、関係法令ならびに指定管理業務の基準に従って適切に管理運用
--	--

## 5 収支について

### (1) 経費削減及び収入増加策について

<p>[取組内容]</p> <p>●経費削減について 経費執行について、適正な運営が可能な範囲で業務委託先、金額について見直し</p> <p>●収入増加策について 主催事業の販促広報活動強化、貸館事業における新規割引制度導入によるホールセールスの強化を推進</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□積極的な経費節減策と収入増加策への取組みにより、収支差額ゼロ以上の達成</p> <p>□来場者数拡大による入場料収入や、利用料金収入の増加 (24年度比で50万円増見込み)</p>
--	--

## 6 平成25年度 収支予算書

項 目	予 算 額	備 考
収 入		
指定管理料収入	190,901,000	
利用料金収入	19,500,000	
事 業 収 入	143,650,000	
そ の 他 収 入	1,388,000	協賛/負担金収入、雑収入
合 計	355,439,000	
支 出		
人 件 費	89,177,000	
管 理 費	115,620,000	
事 業 費	134,866,000	
事 務 費	15,776,000	
合 計	355,439,000	
支 計	0	

## 7 人員配置及び勤務体制

### ①人員配置

項 目	人 数	備 考
館 長	1	非常勤
副館長	1	課長補佐級
管理運営チームリーダー・事業チームリーダー	2	係長級
事務職員	6	管理系 3、事業系 3
アルバイトスタッフ (事務)	2	
カルチャースタッフ (受付)	28	総予定人数

### ②勤務体制

基本：館長、副館長、ホールセールス専任者を除くスタッフでのローテーション制による運営。

各日の事業状況、貸館状況によって配置人数は変動。

A：事務室（早番 9:30～18:15 最小 2 名、遅番 13:30～22:15 最小 2 名）

管理運営チームリーダー・事業チームリーダー、事務職員、アルバイトスタッフ

B：受付窓口業務（A勤務 9:45～13:55 B勤務 13:45～17:55 C勤務 17:45～22:00）

以上